

大正廿年二月一日創立ニ係リ事務約三種
郡川分利ニ置キ同業者相互之意思ノ疎通ノ圖
リ圓滿ニ事業務ニ從事シ得ル度ニ造リ會員
中不時開催ノ為ニ候所ニ就キ利益吉千福ノ圖ルヲ
目的トシ會員三種（金蓮洋銀銀牌併仕四十五名
（毎月會費會員各自收入一圓ニ對シ）主幹者八神公
（事務員一人三月十五天内至三月零更正）主幹者八神公
銀座本鋪・支部會會ナシ

（後知縣一

(三) 大日本機器製造株式會社津支部解散
二月八日轉勤リ命セレタル西川係外三名九日
支部事務所（山田屋旅館）ニ臨時支部總會
于閣主轉勤、不当ニ當局ニ詰問セントセシ文會

員集会セラ流會トナリタリ西川等賑起
ナリ機器庫ニ山口主任ニ詰ニ轉勤事由ヲ質シタ
ル元同主任ハ相手ニセラ支部員中、多クハ同時、
経過ニ伴ニ冷蔵ニ歸シ且ツ家慶ニ於ケル勸告其
往首魁有、懲戒的轉免等當局、英斷ニ恐怖
シ凡日參観會ニ申込モ多ク西川等、後繼者
トシテ新部、位置ニ立テル市川條次郎、一形條作
尾器國作、三名ハ鐵道當局、態度ニ恐怖シ
夕化ノ如ク全十二日駿東郡原町長植松保作
部事務所ニ臨時協議會日開キ事務會
腕會及支部解散等、開シ、初議、結果一同
腕會シテ支部、解散不決議ノ翌十三日本部